

報告事項（2）

9月定例教育委員会 資料	
令和3年9月28日	
担当課	各課等

9月定例市議会一般質問教育長・副教育長答弁要旨について

【一般質問】

	〔議員名 会派〕		〔担当課〕	〔ページ〕
1	砂田 典男	会派新生	教育総務課	1
2	太田 縁	無所属	文化財課	2
			学校教育課	3
3	岡田 信俊	会派新生	学校教育課	4
4	椋田 昇一	会派未来ネット	学校教育課	5～6
5	長坂 則翁	会派未来ネット	学校教育課	7～10
6	西村 紳一郎	会派新生	総合教育センター	11～12
7	星見 健蔵	会派新生	学校保健給食課	13～14
8	足立 考史	無所属	学校教育課/総合教育センター	15～17
9	吉野 恭介	会派新生	総合教育センター	18～19
			生涯学習・スポーツ課	20～22
10	魚崎 勇	会派新生	総合教育センター	23～26
11	雲坂 衛	会派新生	学校教育課	27～28
12	朝野 和隆	会派新生	学校教育課	29～31
			生涯学習・スポーツ課	32～33
13	平野 真理子	公明党	学校教育課	34
14	米村 京子	会派未来ネット	学校教育課	35～36
15	浅野 博文	公明党	学校教育課	37
			教育総務課	38
16	加藤 茂樹	会派新生	学校保健給食課	39

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和3年9月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	2 防災対策について (2) 避難所開設の指定基準について		
【質問要旨】 (追及8) 体育館の雨漏りは、児童たちにも重大な事故を招くことも多々あります。避難所指定の施設ですから日頃からの適正管理が求められていると思いますが、この点についてお尋ねする。			
【答弁要旨】 (追及8) 学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所としての役割を担っており、建物・各種設備等の点検結果や各学校からの営繕要望等も踏まえながら、適切な維持管理に努めているところです。先月の台風9号や大雨により、不具合の連絡があった岩倉小学校などの施設については、あらためて現地確認等を行い、修繕等の対応を進めています。雨漏りについては、雨水の侵入経路と雨漏りしている箇所が離れていることも珍しくないため、原因の特定が難しい場合も多くあります。ご指摘の体育館については、これまでも部分修繕等を行っていますが、今後も引き続き原因特定に努め、対応していきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
			対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年9月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 一層激しくなっている気候ならびに気象への対応について (3) 久松連山と城跡周辺の治山治水対策の現状と課題について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及6) 令和3年7月豪雨で、鳥取城跡も石垣の崩落などの被害があったと聞いている。被害状況と今後の対応について伺う。</p> <p>(追及7) 鳥取城跡の整備が進捗しているが、それにとまなう災害対策の方針について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及6) 令和3年7月豪雨では、史跡鳥取城跡で2か所の被害が報告されています。まず、仁風閣裏側の西坂下御門脇で、明治維新以降の造営と考えられる石垣の一部が崩落しました。もうひとつは、鳥取西高等学校裏手、楯蔵跡の石垣の足元を覆う土の一部が流出したものです。いずれの場所も、現在は、浮いた石材や土を撤去し、シートや土嚢で養生するなどして安定させているところです。また、史跡内の排水路の確認・清掃などもあわせて行いました。これらの対策により、現状では直ちに大規模な災害が生じることはないと考えています。将来的には、発掘調査などを実施したうえで修理するなど根本的な対策を実施したいと考えています。</p> <p>(追及7) 史跡鳥取城跡では、現在、短期整備として大手登城路の復元整備に取り組んでいるところです。この事業では、建物や石垣の復元だけでなく、近代以降の改修で機能を失った江戸時代の排水路を復旧するなど、鳥取城が本来持っていた治水・治山機能の回復にも取り組んでいます。60年以上にわたって続けている石垣の修理事業においても、石垣の構造的安定だけでなく、樹木の整理や落石防止ネットの設置、劣化状況のモニタリングや除草管理、排水機能の向上などを進めてきたところです。今後も、文化財としての鳥取城跡の保存・継承のための安全管理と防災に努めて参ります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>3 地域の歴史資源を活かしたまちづくりについて (3) 鳥取市政施行日について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及9) 鳥取市制施行日を、市政について考えたり学んだりする日として広く周知すべきと考えるが市長並びに教育長の考えを伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及9) 学校では小学校3年時に、社会科資料集である『わたしたちの鳥取県東部』を用いて、明治22年(1889年)に鳥取市が誕生したこと、その後、周辺の町村と合併して現在の形になったことなど、鳥取市の成り立ちについて学習しています。また、鳥取市の郷土資料集である『鳥取市の志』を用いて、郷土の発展に努められた先人の業績から鳥取市の発展についてより広くより深く学習したりもしています。中学校においても、地方自治を学ぶ際に鳥取市の行政や政治を多面的・多角的に考察し、市民として主体的に関わる態度を養う学習が行われています。いずれにいたしましても、児童生徒が鳥取市についてより興味や関心を抱き、「ふるさとを思い 志をもつ子」に育ってくれることを期待しています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>2 小学5、6年生体育の教科担任制について (1) 教科担任制の意義について (2) 教師の配置について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇) 文部科学省は、担任が受け持つ授業数を減らし、教員の働き方改革にもつなげる考えもあるようである。また、小中で一貫性のある学びが実現するように、各教育委員会が双方の指導状況を継続的に把握するよう求めていくようであるが、教育長の所見を伺う。</p> <p>(追及1) 体育のみならず、教科担任制が求められている教科においては同じ人材確保難が生じると思うが、どのように解決しようとしているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇) 小学校高学年における教科担任制の導入により、教科指導の専門性を持った教師によるきめ細やかな指導や系統的な指導による中学校への円滑な接続、複数教師による多面的な児童理解、また、働き方改革の面からは、持ち授業時間数の軽減や授業準備の効率化等による教師の負担軽減が期待されます。本市においても、義務教育学校での実践はもとより、外国語活動・外国語や理科の専科などについて実践を進めており、期待された効果が表れてきています。各学校での取組や指導状況をもとに成果と課題の検証を行い、体育を含めて今後よりよい教科担任制になるよう取組を進めてまいります。</p> <p>(追及1) 文部科学省は、専科指導のために令和2年度から定数加配について段階的に予算要求しているものの、現時点で外国語、理科の専科のみが配置されており、算数、体育を含めた4教科における教科担任制への移行については見通しが持ちづらい状況です。現実的に考えると、加配教員が全ての学校に行き渡るとは考えづらく、人の配置のみに頼らず、学年の担任同士で得意とする教科を持ち合ったり、担任を持たない教員が特定の教科を持ったり、小学校・中学校で兼務発令を行って対応したりするなど、運用面で工夫を考えていく必要があると考えます。市としては同時に、国、県に対して引き続き加配について強く要望していきたいと思っております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	椋田 昇一	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 現状と課題について (2) 命と暮らしを守る安全安心の実現について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇) 本市の新型コロナウイルス感染症の現状と今後の感染症対策について、市長と教育長に所見を伺う。</p> <p>(追及2) 学校や児童クラブで感染者が確認されたら臨時休業となるが、保護者は仕事を休んだり調整したりと困ることとなる。中には雇用の危機が危ぶまれ、不安を抱えている人もあるが、教育長はその実態を把握されているか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇) 7月末から児童生徒の感染が増え、8月には放課後児童クラブでクラスターが発生しました。明らかに以前とは違う感染力で、今まで以上に感染予防を図っていく必要があると感じています。学校や児童クラブでは、基本的な感染症対策を徹底することはもとより、感染のリスクの高い学習活動や行事等を慎重に判断したり、児童生徒や教職員の健康状況を的確に把握したりすることも重要であると考えます。先日より、中国大会や全国大会に出場した児童生徒等がPCR検査を受検する際の費用の助成を始めました。また、来週より教職員や児童クラブの支援員等を対象に、ワクチンの職域接種を開始します。このような対応も含め、引き続き最大限の警戒と対応を続けていきたいと思っております。</p> <p>(追及2) 今まで学校や児童クラブが臨時休業となった際は、急遽各ご家庭で対応いただくこととなり、保護者の皆様には多くのご負担、ご苦勞をおかけしました。保護者の皆様のご理解、ご協力により対応してきましたが、特に児童クラブは、仕事で放課後の養育が難しいご家庭が利用されている施設であり、これが閉所となった場合、大いにご家庭に影響が出ることは認識しております。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	椋田 昇一	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 現状と課題について (2) 命と暮らしを守る安全安心の実現について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及4) 仕事を休むことが困難な世帯の子どもを他の施設で一時的に預かったり、代替事業を実施したり、保護者の職場に協力要請をしたりすることは考えられないか、教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及4) 感染の拡大防止という視点から考えると、感染の広がりが見られないと判断するまでの一定期間は、放課後児童クラブ等での預かりは難しいと考えます。保健所と連携しながら、できる限り速やかに必要な検査、調査を行い、臨時休業期間も必要最小限となるよう努めてきたところです。今後も、学校や児童クラブ関係で感染が判明し、臨時の措置をとることも想定されますが、子どもたちの安全・安心を第一に、保護者のみならず、事業所の皆様にもご理解、ご協力をいただけるよう努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
<p>◆ 対応方針 市長、教育長連名で、商工会議所等に対し要請書を提出する予定</p>			
<p>◆ 進捗状況</p>			
<p>◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)</p>			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 働き方改革に関連して (2) 本市の時間外労働の状況について		
【質問要旨】 (追及2) 鳥取県教育委員会は、令和3年4月に「鳥取県教育委員会学校業務改善プラン」を改定し、鳥取市教育委員会においても、令和2年3月に「鳥取市立小学校、中学校及び義務教育学校の教育職員の業務量等の管理に関する規則」「学校における働き方改革推進のための基本方針」を策定している。具体的な取組について市民に向けて広報されているのか伺う。 (追及3) 意識改革を図る取り組みとして、例えば、各学校において、学校経営計画に業務改善や教員の働き方改革に関する項目を設定しているということだが、どういった始点が盛り込まれているのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及2) 教職員の働き方改革の推進については、小中PTA連合会や自治連合会、公民館連合会と協議しながら令和2年3月に方針を策定し、その後、令和2年4月号のとっとり市報で、市民の皆様に対して学校の電話対応時間の設定や対応時間外は音声メッセージでの対応とすること、また、毎週水曜日を定時退勤の日と設定していること、さらに保護者、地域の方々に交通安全指導や見守りをお願いする内容について周知しております。また、各小・中・義務教育学校の学校だより等でも保護者や地域住民に同様のお知らせしております。今後も情報をしっかり発信することにより、保護者、地域の方への学校教育における働き方改革についての理解を進め、学校運営に御協力いただけるようにしたいと考えております。 (追及3) 各学校においては、学校経営計画に業務改善や働き方改革に関する項目を設定し、管理職はその目標・方針に沿って学校経営を行い、学校評価によって達成状況を把握し改善を図っています。具体的には、行事の精選、学校業務支援システムを用いた情報共有のスピード化、小学校高学年における教科担任制による持ち授業時間数の削減や授業準備の効率化、中学校における部活動休養日の設定、少人数学級の弾力的運用による持ち授業授業時間数の削減等を示し、学校経営にあたっています。今後も、各校での効果のある事例について情報共有し、引き続き業務改善につなげていきたいと考えます。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 働き方改革に関連して (2) 本市の時間外労働の状況について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及6) 教職員の時間外勤務の実態はどのようになっているか伺う。</p> <p>(追及6-1) 時間外勤務は確かに減ってきているが、存在していることも事実である。小中義務教育学校の時間外勤務平均時間数は45.6時間だが、このような現実を教育長はどのように受け止め、どのように認識しているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及6) 本市の小・中・義務教育学校の教職員の9月期における一人当たりの月平均時間外勤務時間は、平成29年から令和2年にかけて9.9時間減少しています。率にすると約18%の縮減となります。また、80時間超の割合も平成29年から令和2年にかけて19.8%から4.4%と大きく縮減しています。これらのことより、働き方改革への取組の効果が表れているものと認識しております。</p> <p>(追及6-1) まだまだ長時間労働となっている教職員がいるということは認識していますが、このたび導入した1人1台端末や公務支援システムなどICTの活用により、業務の効率化が進んできています。また、小学校では教科担任制を導入、中学校では部活動のあり方の改革、これらを推進し、少しずつ働き方改革につなげていきたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 働き方改革に関連して (3) 本市の時間外勤務手当の支給状況について (4) 本市の年次有給休暇の取得実態について (5) 本市の長期休暇者の実態について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及11) 過去3か年の学校事務職員の時間外手当の支給状況について伺う。</p> <p>(追及12) 年次有給休暇の取得目標をどのように定め、その目標に対して過去3か年の職員の取得実態がどうだったのか、鳥取市、水道局、市立病院、教育委員会それぞれに伺う。</p> <p>(追及13) 1ヶ月以上の長期休暇者の実態について、鳥取市、水道局、市立病院、教育委員会それぞれに伺う。</p> <p>(追及14) 1ヶ月以上の長期休暇者のうち、うつ病など心の不調に起因する長期休暇者の実態について、鳥取市、水道局、市立病院、教育委員会それぞれに伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及11) 小・中・義務教育学校の事務職員等の一人あたりの時間外勤務手当の月平均支給額は、平成30年度が37,212円、令和元年度が32,212円、令和2年度が26,554円となっています。</p> <p>(追及12) 小・中・義務教育学校の教職員の年次有給休暇取得の目標は、すべての者が年次有給休暇を5日以上取得し、教職員一人あたりの年次有給休暇平均取得日数を10日以上と定めています。年次有給休暇の一人あたりの年間取得日数につきましては、平成30年が11.2日、令和元年が10.7日、令和2年が11.9日となっております。</p> <p>(追及13) 小・中・義務教育学校の教職員における1か月以上の病休者、退職者につきましては、平成30年度は51名(3.8%)、令和元年度は33名(2.5%)、令和2年度は31名(2.4%)となっております。</p> <p>(追及14) 1か月以上の病休者、退職者のうち、うつ病などの心の不調に該当するものは、平成30年度は22名(43.1%)、令和元年度は13名(39.4%)、令和2年度は13名(41.9%)となっております。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 働き方改革に関連して (2) 本市の時間外労働の状況について (7) 本市の今後の働き方改革の取り組みの考え方について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及15) 心に起因する疾患により長期の病気休暇となってしまった原因等について、どのように認識しているか伺う。</p> <p>(追及15-1) 心に起因する長期の病気休暇となっている職員へのフォローについて伺う。</p> <p>(追及16) 働き方改革の取り組みはまだまだ道半ばだと思う。その上で、鳥取市、水道局、市立病院、教育委員会それぞれの今後の働き方改革の取り組みについて伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及15) 小・中・義務教育学校の教職員の心の不調は、さまざまであると考えます。その中には、学級経営や児童・生徒への指導がおもうようにいかないことでの悩みですとか、保護者との関係、また職場での人間関係、あるいは家庭問題などでの悩みなどが要因としてあるのではないかと考えております。</p> <p>(追及15-1) 各学校の衛生安全委員会で悩みや不調について相談したり、管理職が職員の健康管理や相談にのったりしている。一定の時間数を超えると産業医の面談を行っている。</p> <p>(追及16) 市教育委員会としましては、今後とも「学校における働き方改革推進のための基本方針」に基づいて取組を進めていく考えであります。特にまだまだ意識改革を行わなければならないと考えており、学校では業務の精選や業務の効率化を求めてまいりたいと考えています。市教委としても、制度の改革、教科担任制の積極的な導入や部活動指導員を多く配置することにより教員の負担軽減を図ってまいりたいと思います。鹿野町では、休日の部活動を地域のNPO法人に委託してモデル的に行っているところですし、市教委だけではむづかしいと考えており、地域や保護者、学校運営協議会や地域学校共同本部などへの周知を図りながら取り組んでまいりたいと思います。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 子育て支援に関連して (3) 子育てしやすいまちづくりについて</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 子どもから家族への感染もあり、学校内での感染拡大を防ぐ対策が急務と考えるが、その対応について伺う。</p> <p>(追及3) 総合教育センターの業務状況、相談件数、課題解決への改善状況について、組織拡充して取り組んできたことへの総括について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 変異株を主とした感染が急速に拡大し、感染リスクが高まる中、学校に対し最大限の警戒と感染予防の徹底について指示しているところです。具体的には、教職員の行動として県外への出張等は、取りやめたり必要性を十分に検討し適切に判断すること、各種行事等については、一律して中止とはせず、実施方法や活動内容等を工夫しながら、教育活動を継続し、子どもの学びの保障を検討すること、学校再開時の留意事項等については、全校集会等をオンラインで開催する等、密を回避しながら実施するよう注意喚起しました。今後も子どもたちの安心・安全な学校生活となるよう迅速かつ的確な対応に努めてまいります。</p> <p>(追及3) 鳥取市総合教育センターは、様々な教育課題に特化した調査・研究、それらに基づく施策の立案、関係機関等と連携した相談支援体制の充実強化を図るため、令和3年4月に組織改編したものです。具体的には、これまで教育機関という位置づけだったものを教育委員会事務局の内部組織と位置づけ、所長の権限を強化し、センター内で完結できるような組織体制を整えました。この結果、迅速な対応へとつなげることができました。様々な困り感をもつ子ども一人一人の個別具体の事案について、センター内で迅速に情報共有できたことにより、学校や保護者にタイムリーに情報を提供し、適切な支援につなげられたケースもあります。引き続き、本センター内の職員で協働しながら、学校や関係機関等との連携を図り、効果的な支援につながるよう取り組んでまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	西村 紳一郎	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 子育て支援に関連して (3) 子育てしやすいまちづくりについて		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 安心して放課後も預けることができる児童クラブは必須である。本市の児童クラブ数の推移、運営形態の推移及びクラブ数が増えている背景について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 現在、本市の放課後児童クラブは、74クラブあり、そのうち保護者会運営は32クラブ、NPO法人運営は42クラブとなっています。放課後児童クラブ数は、令和元年度(68クラブ)と比較すると6クラブの増、保護者会運営は、令和元年度(51クラブ)と比較すると、19クラブの減、NPO法人運営は、令和元年度(17クラブ)と比較すると、25クラブの増となっています。放課後児童クラブ数は年々増加していますが、これは、共働き家庭やひとり親家庭、核家族化の増加などが背景にあり、放課後児童クラブのニーズが高まっているものと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	星見 健蔵	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	2 デジタル化の推進による健康への影響について (1) 現状と要因について (2) 「適切な使用ルール」の作成について		
【質問要旨】			
(登壇) 小・中学校で一人一台のデジタル端末の配備もほぼ完了し、今後はデジタル教科書の活用も見込まれているようです。このような教育環境下において、視力への影響が懸念されています。文科省は、スマートフォンなどを長時間見る子供の増加に加え、コロナ禍での巣ごもり生活も一因と見ているようですが、本市の現状と要因についてお尋ねします。 (追及1) 近視は将来的に眼病になるリスクが高まるとされています。特に成人してからは緑内障や網膜剥離など失明につながる病気になりやすいとの指摘もあり、文科省は日本眼科医会の協力を得て、小学1年生から中学3年生9,000人を対象に、端末使用の状況と視力の関係を調査しているようです。「適切な使用ルール」の作成が必要と思いますが、本市としてどのような対策を考えておられるのか、お尋ねします。			
【答弁要旨】			
(登壇) 本市の児童生徒の視力の現状ですが、2020年度(令和2年度)は、裸眼視力1.0未満の児童生徒の割合は、小学生では34.91%、中学生では58.51%でした。ここ数年の本市の傾向としては、中学生は横ばいですが、小学生では全国統計と同様に、視力が低下している児童の割合が増加してきています。现阶段で児童生徒の視力低下の原因を特定することは困難ですが、今年度、文部科学省が児童生徒の近視実態調査を行っており、近視の実態やライフスタイルとの関連等について明らかにし、有効な対策を検討することとしております。この調査結果により打ち出される対策を基に、本市でも児童生徒の視力低下の予防に取り組みたいと考えます。 (追及1) 教育委員会としても、適切な使用ルールは大切であると考え、各学校に対して使用目的・使用する場面・個人情報の保護、健康面等に対して学校や家庭で使う場合の一定のルールのひな形を示し、各学校においてもルールを定め使用しています。例えば、健康面のルールとしては、正しい姿勢で画面に近づき過ぎないこと。端末の明るさを調節すること。30分ごとに景色を見る等目を休めることをルールとしています。 これまでも、校長会・保護者会による、午後8時以降ゲームやパソコンなどを使用しないよう「スイッチオフ8(エイト)」等の推進を進めております。今後も、家庭のご理解をいただきながら使用ルールの徹底を図ってまいります。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	星見 健蔵	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年9月6日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 デジタル化の推進による健康への影響について (3) 影響が出ない対策を		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 第2期鳥取市教育振興計画でも、子供の健全な食生活と、学校保健の推進を基本方針とし、定期健康診断などによる健康状態の把握や、必要に応じた治療指導を行うとされていますが、重要なことは、影響が出ないようにするための対策を講じることだと思いますが、教育長の所見をいただきたいと思えます。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 使用に関するルールの徹底が大切と考えています。児童生徒が健康に関心を持ち生涯を通じて健康な生活を送るための基礎となる病気に関することや体に関する授業等も行っていきたいと考えています。学校では日頃より、児童生徒の健康状態については、学校で行う健康診断をはじめ、日常の健康観察等を通じて把握しており、仮に健康上の問題が認められる場合は、医療機関の受診勧奨や発達段階に応じた保健指導を行っています。 生涯を通じた健康づくりの基礎となる学齢期に、食や運動を含めた生活習慣を整えることは、非常に重要であり、取り組みには学校、家庭、地域、医療機関と連携することが大切と考えます。引き続き、連携を行う中で情報を共有し、児童生徒の健康に留意してまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 GIGAスクール構想によるタブレット端末の活用実態について</p> <p>(1) 学校教育・家庭教育における活用策について</p> <p>(2) 端末機の貸与における持ち帰りについて</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1) タブレットが全学校に整備されて5ヶ月経つが、現在、学校や家庭でのタブレットはどのように活用されているのか伺う。</p> <p>(登壇2) タブレットは個人に給付するものではなく、学校に配備されており児童生徒は貸与されていると認識しているが、家庭への持ち帰りは許可制なのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇) 学校では、様々な学習場面でタブレット端末が活用されています。具体的には、カメラ機能を使った動植物の観察やeラーニング教材を使ったドリル学習、インターネット検索による調べ学習といった個別学習に加えて、デジタルホワイトボードを使った意見発表等、協働学習でも活用されています。家庭での活用については、夏休み中に持ち帰りを行った学校の児童生徒は、家庭でも学校同様にインターネット検索で調べ学習を行ったり、eラーニング教材を活用したドリル学習を行ったりしています。</p> <p>(登壇2) 仰る通りタブレット端末は児童生徒に貸与されているものです。学校では、登校時に専用の電源キャビネットから端末を取り出し、下校時に電源キャビネットに戻して保管するようになっていますが、校長判断で端末を家庭に持ち帰ることが可能です。持ち帰りに当たっては、事前に持ち帰りの約束事や使用ルールについて保護者の確認書を得るようになっています。家庭での端末の管理については、学校と同様のルールに則って使用し、翌日には端末を携帯して登校し、学校の学習で使用することとしています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 GIGAスクール構想によるタブレット端末の活用実態について (3) 休校や授業を受けられない場合の対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及1) タブレットは全児童生徒全員分が配備されていると認識しているが、不登校児童生徒のタブレットの状況はどうなっているのか。</p> <p>(追及2) 不登校や入院、怪我などで学校に通うことができない期間がある児童生徒などは、実際どのようにタブレットが活用されているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及1) タブレット端末はすでに全児童生徒分を配備しており、不登校児童生徒分についても、いつでも使用できる環境を整えています。対応については、一人ひとりの不登校児童生徒の状況やニーズに応じて様々であり、学校で管理している場合には、登校できたときの学習に活用したり、教室の様子が相談室等からオンラインで見えることで雰囲気を感じ、見通しや安心感を持って教室復帰につながることもあります。また、タブレット端末を持ち帰っている場合には、自宅での学習に活用されています。各学校ではタブレット端末の活用を含めて、どのような支援がそれぞれの不登校児童生徒に必要なかを検討しながら対応しているところです。</p> <p>(追及2) 不登校児童生徒はもちろん、病気等による長期欠席児童生徒に対して、教育の機会を保障することは必要なことです。それぞれの児童生徒の状況に応じて、タブレット端末を使って、自宅で自分のペースで学習を行ったり、オンラインで学校の授業の様子を見たり、学習活動に参加したりして活用している事例があります。また、今後の支援につなげるきっかけ作りとして、自宅からなかなか出ることができない不登校児童生徒に対して、端末を通して担任等とコミュニケーションをとり、本人との関係を築いたこともありました。今後もタブレット端末をより効果的に活用できるよう取組を進めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 GIGAスクール構想によるタブレット端末の活用実態について</p> <p>(4) Wi-Fi環境が整備出来ていない家庭について</p> <p>(5) 等しく教育を受けることが出来る環境整備の構築について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及3) 本年4月末現在でWi-Fi環境が整備されていない家庭が881家庭あると伺っている。家庭での学習環境による教育の格差を危惧するところだが、所見を伺う。</p> <p>(追及4) 不登校児童生徒など学校に通えない時でも同じような学習ができる環境として、授業を録画して配信するような体制整備が必要と考えるが、将来に向けてどのように考えているのか教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及3) 家庭においてもタブレット端末を使って、しっかり学習できるよう、現在、Wi-Fi環境整備に関する助成金制度やオンライン学習通信費を援助する就学援助制度について保護者に周知し、家庭におけるWi-Fi環境整備の促進を図っているところです。今後も、家庭の学習環境整備の支援を継続していきたいと考えています。</p> <p>(追及4) 本年度に入ってから、家庭への端末持ち帰り実証実験を行っており、eラーニング教材の活用といったオンライン学習や、児童生徒と教師が双方向にやりとりするオンライン朝の会やオンライン授業等を試行しているところです。実証実験の結果をふまえてオンライン学習を行う体制を整備していくと同時に、今後も、不登校児童生徒や、やむを得ない理由で学校に通えない児童生徒の学びの機会を保障する教育環境を実現するため、各学校における適切なICT環境整備を進めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 地域の活性化について (1) 高等教育機関との連携について ① 教員の育成について ② 鳥取県に教育学部がない影響について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及1) 本年度、本県・本市に新しく採用された教員の内、県内・県外出身者の数と割合、今後の教員の充足について伺う。</p> <p>(追及2) 教員不足の大きな要因は鳥取大学に教育学部が無くなった影響によるものと考えているが、本市ではどのような見立てをされているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及1) 家庭においてもタブレット端末を使って、しっかり学習できるよう、現在、Wi-Fi環境整備に関する本市では、本年度50名が新規採用者となっております。内訳は、県内出身者が30名で60%、県外出身者が20名で40%となっております。校種別では、中学校と義務教育学校の新規採用は19人で16人が県内出身者であるのに対し、小学校は31人の内、約半数の17人が県外の出身であります。また、新規採用者50名の内、社会人1年目の新卒者は半数の25名ですが、その内、県外出身者は約半数の13名です。今後5年間ほど退職予定者が多く、本市では毎年40～50名の退職が見込まれています。採用にあたっては、県教育委員会が実施されることとなりますが、全国的に教員のなり手が少ない中、さまざまな取り組みを行って教員確保に努められるものと伺っています。</p> <p>(追及2) 鳥取大学では、平成16年に国立大学法人化とともに教員養成を目的とした教育学部から地域学部へと改組され、現在は、小学校・特別支援学校・中学校の社会・国語・英語・数学・理科などの教員免許取得が可能です。また、鳥取環境大学では中学校理科の教員免許が取得可能です。近年、全国的に教職志向の学生が減少する中、本県の地元大学においても県内出身の学生が占める割合は多くはありません。学部再編の影響というよりも、むしろ教職志望の学生の減少が大きく影響しているものと思われまます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 地域の活性化について (1) 高等教育機関との連携について ③ 山陰教師教育コンソーシアムについて</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及3) 山陰教師教育コンソーシアムと積極的に協力していくべきと考えるが、本市としての関わりについて伺う。</p> <p>(追及4) 磨かれた教師になってもらうため、心のケアを含めた若手職員の育成方針や研修の考えについて伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及3) 大量退職・大量採用に伴い、新卒者の割合が高くなっている現状の中、教員志向の学生を広く増やすことは、喫緊の課題であると考えています。山陰教師教育コンソーシアムに本市総合教育センターも関与しており、具体的な取組については「未来の教師育成プロジェクト」では、本市出身の島根大学生が母校の小中学校で体験活動を行う他、本市の小中学校長が東部地区の高校で教職の魅力等について講話等を行う事業も実施する予定です。本市教育委員会としては、島根大学と協働することに加え、鳥取大学で行われている学生の学校教育への理解を深め、教職への意欲を養うこと等を目的とする「学生教育ボランティア」も積極的に活用を図っていき、島大同様、鳥大とも連携を深めていきたいと考えております。</p> <p>(追及4) 若手教員については、採用5年目までを育成期と位置づけ、特に1年目は初任者として教員に必要な基礎的素養や実践的指導力等を身に付けるための研修を重点的に行っているところです。各学校でのOJTはもとより、初任者の指導教員、中堅教員等と初任者がチームで学び合うシステム、複数の学校を巡回して初任者を支援する教員、市教育委員会指導主事による訪問支援など、初任者への手厚いサポート体制を整えています。また、本市退職校長会により県外出身の初任者等が鳥取に慣れ、よさに触れるための生活支援や名所探訪などの活動の他、初任者同士のつながりをつくるための自主研修会も行われています。今後も若手教職員の育成や支援の充実にしっかりと図ってまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>(2) スポーツの振興について</p> <p>① 東京オリンピック、パラリンピックの開催に関連して</p> <p>② 環境整備について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及1) 第11次総の中で「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の基本目標として、スポーツ・レクリエーションの振興があげられている。東京オリパラを通して、トップアスリートの活躍は一気にスポーツのすそ野を広げる力があると考えます。スポーツを日常的に楽しむ人口の拡大について、本市の方針を伺う。</p> <p>(追及2) 鳥取県から金メダリストの入江選手をはじめ6名、パラリンピックの安野選手1名がオリンピックに出場しているがこの7名はいずれも鳥取県西部の出身者である。オリンピックを含めトップアスリートの活躍がスポーツ振興につながると考えるが、鳥取県東部0人という厳しい現実にある。トップアスリートの育成について本市としてどのように受け止められているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及1) 今後5年間の本市のスポーツ方針をまとめた市スポーツ推進計画の中で、スポーツには「する」「みる」「支える」「知る」の4つの関わり方があり、スポーツ意欲を喚起するとしています。コロナ禍において大会の減少や施設の利用制限といった状況の中、スポーツに触れる機会が少なくなりましたが、今回の東京オリパラで活躍されたアスリートの姿から多くの人がスポーツの素晴らしさを改めて感じられたことと思います。近い将来には、また再びスポーツを思いっきり楽しめる日常が戻ると考えています。そのためにも引き続きスポーツの普及に努め、またスポーツのできる環境づくりにしっかり取り組んでいきたいと考えます。</p> <p>(追及2) 過去に本市ではバレーボールの山本隆弘さん、マラソンの山下佐知子さんなどのオリンピックを輩出しています。本市では幼少期からアスリートの育成に特化した事業は行っていませんが、鳥取県ではジュニアの強化に取り組んでおり、小学4年生以上を対象に、特定種目のアスリートとして養成しています。本市では、老若男女が数多くの方がスポーツに触れる機会の創出に取り組んでおり、多くの市民がスポーツに参加したり、アスリートとの交流を通じて、体を動かす習慣やスポーツに関心を持っていただく環境づくりを進めています。これらの事業を通じて、今後、トップアスリートが本市から生まれることを期待しているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	(2) スポーツの振興について ① 東京オリンピック、パラリンピックの開催に関連して ② 環境整備について		
【質問要旨】 (追及3) 世界や日本のトップアスリートも大事だが、より身近な地元のアスリートの姿を後進に見せていくことが大事ではないか。アスリートの経験を活かした意見交換の場だとか、アスリートならでは提案だとか、児童生徒も含めた若い人たちも、未来に向けて共に幸せになる、そうした活躍の場づくりの取組みについて伺う。 (追及4) スポーツ庁では、成人のスポーツ実施率の向上について取り組んでいる。全国的にはビジネスパーソン、女性、障がい者の実施率が低いことが課題となっている。こうした課題に対し地区体育館のバリアフリーやトイレの洋式化、スマート予約など施策を進める必要がある。本市はどのようにしてスポーツ実施率を向上させるため、格差解消（問題解決）に取り組もうとしているのか。			
【答弁要旨】 (追及3) アスリートの姿を後進に伝えるという取り組みは、本市では平成22年からこころのプロジェクト夢の教室として昨年までで累計110校の実施、また、県が県内のアスリートを学校に派遣し子どもたちに授業をおこなうトップアスリート派遣を、平成25年から昨年までで延べ37校で実施しています。アスリートから聞く成功秘話や苦労談、ものの考え方は、子どもたちに普通の授業では得ることが出来ない効果をもたらすと聞いていますし、学校からも高い評価をいただいています。今後につきましても、アスリートの貴重な体験を子どもたちに伝えることを通して、本市のスポーツ振興はもちろんのこと、子どもたちの人間性や社会性を育てまいりたいと思います。 (追及4) 令和3年3月にまとめた第2期市スポーツ推進計画の中で、年齢や性別、障がい、国籍等を問わず、関心、適性等に応じてスポーツに親しむことができるまちを目指しています。この計画では、女性のスポーツ参加と障がい者スポーツ普及の更なる向上を図ることとしています。女性のスポーツ参加では、大会での託児スペースの設置、障がい者スポーツの普及では、パラリンピックでも人気となったボッチャを含めたニュースポーツの普及促進と指導者養成に取り組んでいます。また、体育施設のバリアフリー化やスマート予約の導入による利用者の利便性の向上を図るなど、施設の環境整備に努めているところです。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	(2) スポーツの振興について ① 東京オリンピック、パラリンピックの開催に関連して ② 環境整備について		
【質問要旨】 (追及5) トップアスリートを育成していくうえで人材育成には指導者と場所が必要な要素だが、鳥取県西部にはその要素があったからオリンピックを輩出することが出来たと感じる。本市でもアスリートを育成する観点で施設整備が必要なのではないかと考えるが、本市のスポーツ施設の整備についての考え方を伺う。			
【答弁要旨】 (追及5) 本市のスポーツ施設の整備にあたっては、市民に幅広く使っていただくことを基本としています。例えば、今年度、スケートボード場の整備を計画していますが、まずは初心者から上級者まで幅広くご利用いただき、趣味で気軽に滑走したり、仲間作りの場となることを目指しています。トップアスリート育成を目的とした専門性の高い競技施設のハード整備をとのことですが、本市ではまずは競技人口のすそ野を広げ、多くの市民の皆様に様々なスポーツに親しんでいただける環境整備を進めるとともに、優秀な指導者の育成を進めることで、どのような環境の中でもしっかりと競技力の向上が図られ、より高い目標を目指して活躍するアスリートが出てくることを期待しているところです。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>3 小中学校GIGAスクールについて (1) GIGAスクールの状況について ① 小中学校の現状について ② 取り組みの効果について ③ 今後の方向について</p>		
<p>【質問要旨】 (登壇) GIGAスクール構想の鳥取市の整備状況について伺う。 (追及1) GIGAスクール構想によって、これまで行ってきた教育と重複するなどボリュームがさらに増えるように思うが、従来と比べてどのような違いがあるのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (登壇) 鳥取市GIGAスクール構想では、令和2年度内に、学校の校内ネットワークとして普通教室に校内無線LANを整備し、現在、すべての学校にいきわたる校外ネットワークの高速化を整備しているところです。また、各学校の児童生徒に一人一台のタブレット端末を整備しました。その他にも、教員用の端末の整備、端末充電のための電源キャビネットの整備、カメラ、マイク及び、大型モニターの周辺機器の整備も行っており、現在このような整備に基づき、児童生徒の個別最適化、共同学習に活用すべく、さまざまな取組を行っているところです。 (追及1) 今回改訂された新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等があげられています。これらの資質・能力を育成するため、GIGAスクール構想の一人一台端末を活用しながら、一人一人の教育的ニーズに対応した誰一人取り残すことのない学びの実現を目指しています。学校における各教科等の指導に当たっては、新学習指導要領に基づき、資質・能力をバランスよく育成することが重要です。子どもや学校の実態や、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、あくまでも教材・教具の一つとして一人一台端末等のICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業につなげ、教科のねらいを確実に達成できるようにしています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>3 小中学校GIGAスクールについて (1) GIGAスクールの状況について ① 小中学校の現状について ② 取り組みの効果について ③ 今後の方向について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) コロナ禍の中でタブレット端末の活用はどのような利点があるのか伺う。</p> <p>(追及3) このGIGAスクールでの実際の効果はどのようなことがあったのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 一人一台端末や高速通信環境を活用した学びの利点として、児童生徒にとっては、eラーニング教材の利用により、同時に異なる内容を学習できたり、学習履歴が蓄積されたりするため、一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別最適化された学習が可能になります。また、一人一人の意見や考えを即時に共有して発表したり、資料を収集し共同編集をしたりして、双方向の意見交換を行うことが可能になります。オンライン学習は、感染症や災害等による臨時休業の際に、児童生徒の学習支援に大きな役割を果たすことができることも利点と考えられます。</p> <p>(追及3) 今年度4月から端末の本格使用を始めていますが、すでに様々な学習場面で活用されています。タブレットを活用することで、理科の実験結果を学級で共有したり、音楽では楽器のアプリケーションを活用し、班のメンバーで合奏するなど、学習への興味・関心がより高まっています。また、話し合いの場面では、手を挙げて発言することが苦手だった子どもが、文字の入力であれば自分の意見を伝えやすくなり、学習に意欲的に取り組んでいる姿も見られます。さらに、学級活動や生徒会活動の場面でも、子ども達が自ら、タブレットの使い方を教員に提案するなど、主体的に活動等に取り組む姿勢がより高まっていると感じています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>3 小中学校GIGAスクールについて (1) GIGAスクールの状況について ① 小中学校の現状について ② 取り組みの効果について ③ 今後の方向について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 実際に運用してみて、いろいろ課題が発生するのではないかと思うが、どのようなことが考えられるか伺う。</p> <p>(追及5) 教科書でも同様であるが、タブレットやICTの活用による知識だけではなく、現実社会での教育が大切だと考えるが、校外学習のようなこれまでの教育実践との融合をどのように図っているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 学校の校内ネットワークとして普通教室に校内無線LANを整備したところですが、特別教室や体育館などでは、まだまだ電波の届かない状況にあり、環境整備の充実が課題と考えています。また、端末の紛失や破損等の報告は少なく、各学校では端末を大切に使用していますが、故障等の不具合については、予想を上回る報告があります。故障等で修理を業者へ依頼した場合には、時間を要し、その間、端末を使えない期間が生じてしまうことも課題です。今後も端末の維持管理に努めるとともに、通信環境や機器の充実に努め、より使いやすいICT環境となるよう改善を図ってまいります。</p> <p>(追及5) ICTを活用すると、例えば天体学習のような時間的・空間的制約がある事象を疑似的に体験することができます。一方で、その場所へ出掛けて行き、五感を使って実際に見たり聞いたり体験することは、教室での学びに勝るかけがえのない体験です。そこで、校外学習や職場体験学習等では、事前に調べ学習に取り組み、教科書やインターネットで調べてから体験活動を行い、学びをより深めています。今後もICTのよさを効果的に生かしながら、体験活動と合わせて教科のねらいを確実に達成できるよう取り組んでまいりたいと思います。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>3 小中学校GIGAスクールについて (1) GIGAスクールの状況について ① 小中学校の現状について ② 取り組みの効果について ③ 今後の方向について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及6) タブレットだと、教科書が縮小したり不要となり、登下校で児童生徒の教科書運搬を軽減できると思うが、どのように捉えられるのか伺う。</p> <p>(追及7) GIGAスクールによって、教育業務のタブレットと学校運営業務の業務パソコンの両方使用することとなり、かえって業務が増え、子どもに寄り添う時間がなくなるのではないかと思うが、運営業務の簡素化などの業務改善については、どのように考えるか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及6) 確かに紙の教科書は、児童生徒の登下校時にかさ張ることがありますが、必要なページを素早く開け、書き込みをしたり付箋を活用したりして学習内容を整理できる等のメリットもあります。一方、デジタル教科書は、本文から関連するコンテンツへのリンクが容易で、図や動画等の欲しい情報も簡単に得られます。また、文字拡大や、ルビ振り、読み上げ機能などを活用することもメリットであります。本年度、国のデジタル教科書普及促進事業として実証事業が始まっており、本市でも、希望校する6校が実証事業に参加をしています。デジタル教科書の活用については、本事業の検証結果、国や県の動向も踏まえながら注視していきたいと考えます。</p> <p>(追及7) 平成29年度から本格使用された校務用パソコンでは、児童生徒の出欠の状況や学習成績等を一元的に管理したり、出席簿等が自動作成されたりするなど、業務改善が図られているところです。今年度から導入のタブレット端末については、授業の中で使用するもので、より学習を深めるツールです。導入初期には確かに使い方等の研修が必要ですが、今では教材作成等にかかる時間等の縮減につながり、会議資料等のデータを共用したりするなどして業務の効率化が図られています。また、遠隔技術の活用により研修や会議等の会場への移動時間が省かれています。今後も、より一層の教職員の業務の改善や効率化を進め、教師が子どもたちと向き合う時間をより確保することにつなげていきたいと思っております。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	1 「新型コロナ」に関連して (11) 子供のマスク対応について		
<p>【質問要旨】 (追及11) 全国的に子どもがマスクを着用しないことを認めるべきだという声を上げている人々がいるが、学校の中でマスクを着用しないということについてどう考えるか。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及11) 現在各学校では、文部科学省のマニュアルに準じ、身体的距離が十分とれないときはマスクを着用するようにしています。ただし、運動時や、気温・湿度が高い日等は、熱中症対策を最優先としマスクを外してよいことをあわせて周知しています。集団生活の場となる学校では、児童生徒同士の距離が十分にとれる状況ばかりではありません。様々な考えがあるとは思いますが、身体的な距離が近くなるような状況では、今後も感染予防の観点からマスクの着用を基本としていく考えです。なお、健康状態など、やむを得ない理由によりマスク等の着用が困難な場合は、個別に配慮を行っていきます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月13日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	2 教員採用に関連して (1) 現状と課題について (4) 再発防止に向けた今後の取り組みについて		
【質問要旨】 (登壇) 教員の採用及び配置の現状と課題について伺う。また、県外から採用された者の心のケアについてどのようにサポートしているか。教員の一定の資質を確保するうえで、採用時、採用されてからの条件附採用期間中に適格性を判断するために県教育委員会とどのような協議をしているか教育長に伺う。 (追及1) 鳥取の教員人材は鳥取で育成し繋いでいくことが重要と考える。県立高校に教員養成コース設立や鳥取大学教育学部の復活の要望を聞くが、高校や大学との連携について今後の具体的な取組について教育長の所見を伺う。			
【答弁要旨】 (登壇) 近年教員の大量退職に伴う新規採用により、若い教員の割合が増えてきています。教員採用は県教育委員会がおこないますが、教員志望者が減る中、今後も県外出身者を含めた人材確保が課題と考えています。県外からの採用者へは退職校長会の協力を得て、市内の名所に出かけ鳥取の魅力を体感したり、互いの情報を交換する場を設け、横の連携づくりをサポートして、安心した生活となるよう支援しています。また、指導主事が困り事や悩みを聞き、一人で抱え込まないよう支援しています。教員の資質の確保については、採用面接時、また、条件附採用期間中には、各校の校長の評価に基づいてそれぞれ県教育委員会が採用の可否を判断する仕組みとなっています。 (追及1) 教員人材を鳥取で育成し、しっかり繋いでいくことは大変大切なことだと考えます。県立高校の中には、将来教職を目指す教育関係への進学を希望する生徒へ、現職の小中学校の教諭が教職の魅力について講話等を行う取組が行われている学校もあります。また、鳥根大学が県教育委員会と連携し、地域の教育力向上に資する教師の育成をしています。その一環として本市出身の鳥根大学の学生が母校の小中学校で学習支援や体験活動等を行う事業も展開されています。今後も、教員の人材育成をしていくために、地元の高等学校、鳥取大学、鳥取環境大学も含めた大学とのさらなる連携を深めていくことが大切だと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生徒、児童への対応について</p> <p>(1) 今までの対応について</p> <p>(2) 今後の対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>現在、感染力の強いデルタ株の影響により、本市でも家庭や職場での感染、子どもの感染が増えているが、これまでの学校及び児童クラブ、(保育所等)での対応について伺う。</p> <p>(追及1)</p> <p>デルタ株が主流となって以降、学校及び児童クラブではどのような対策を行っているのか、変更点などがあれば具体的に伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>学校及び児童クラブにおきましては、文部科学省及び厚生労働省のマニュアルに基づき、3密状態の回避、健康観察の徹底、清掃・消毒の実施等の基本的な感染症対策を徹底してまいりました。その上で学校では、各行事を一律に中止とはせず、実施方法や活動内容等を工夫しながら可能な限り教育活動を継続し、子どもの学びを保障するよう努めてまいりました。その他にも、部活動における県外への遠征等の自粛や教職員の出張の制限など、県をまたぐ移動等には細心の注意を払ってまいりました。児童クラブでも、鳥取県版新型コロナ警報の発令状況に合わせた活動制限や感染予防に取り組んでまいりました。</p> <p>(追及1)</p> <p>夏季休業中の放課後児童クラブでのクラスターの発生や家庭内での感染など、本市の児童生徒においても感染拡大が深刻化したことを受け、今まで以上に緊張感をもって、最大限の警戒と感染予防の徹底を図るよう指示いたしました。基本的な感染症対策を改めて徹底するとともに、感染リスクの高い学習活動については実施を慎重に検討したり、感染拡大時には部活動や行事に制限を加えたりしながら、感染拡大の防止を図っております。放課後児童クラブにおきましては、県のガイドラインの変更点や専門家による現地指導で指摘された内容を各クラブの代表者に直接説明し、食事を交代制で行うようにしたり飛沫感染対策をしてみ処理を行うようにしたりしているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生徒、児童への対応について</p> <p>(1) 今までの対応について</p> <p>(2) 今後の対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 9月以降、学校では運動会や修学旅行等の行事が計画されているが、実施等の考え方や対応方針について伺う。</p> <p>(追及3) 突発的なコロナの感染拡大等により修学旅行を中止せざるを得なくなった場合、キャンセル料等の補助はあるのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 各行事につきまして、実施方法や活動内容等を工夫しながら可能な限り教育活動を継続し、子どもの学びを保障すること、その上でもなお感染リスクを下げるできないと判断した場合は、延期または中止とすることとしております。修学旅行等につきましては、現段階において、日本旅行業協会等が作成した「手引き」等を参考にして対策を講じるとともに、学校運営協議会やPTA組織等と協議の上、判断することとしております。また、鳥取県版新型コロナ警報の「特別警報」が東部地区に発令された場合は泊を伴う行事を見合わせたり、「特別警報」が発令されている地域への移動を控えたりすることとしております。</p> <p>(追及3) 新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行の中止、延期、または日程もしくは行程の変更をした場合に発生する経費を支援する「鳥取市修学旅行の計画変更に伴う支援事業」を実施しております。対象となるのは、次の3つです。児童生徒その他学校関係者が新型コロナウイルス感染症に感染したことにより計画を変更した場合に発生したキャンセル料。鳥取県内に鳥取県版新型コロナ警報の「特別警報」が発令され、市教育委員会の要請に基づいて計画を変更した場合に発生したキャンセル料。その他、市教育委員会の要請に基づいて計画を変更した場合に発生したキャンセル料。これらのキャンセル料を補助することで、学校及び保護者の負担軽減を図っております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生徒、児童への対応について</p> <p>(1) 今までの対応について</p> <p>(2) 今後の対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 今後、感染拡大等となった場合の部活動及びスポーツ少年団の対応について伺う。</p> <p>(追及5) 今後、感染拡大等により学校が臨時休業となることも想定される。学びを止めない方策として、GIGAスクール構想事業で整備した1人1台端末の活用が考えられるが、どのような対応を考えているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 部活動につきましては、中国大会や全国大会につながる県予選及び本大会出場を除いて試合を自粛し、県外への遠征及び県外から県内への受け入れも自粛します。スポーツ少年団につきましても、既に通知しております「体育施設でのスポーツ活動及びイベント等を行う際の新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン」に基づいて同様の要請をしているところです。また、部活動につきましては、鳥取県版新型コロナ警報の「警報」以上が発令されている県内地域との練習試合等や、東部地区に「警報」が発令された場合の他校との練習試合等を原則自粛します「特別警報」が発令された場合は、対外試合等も原則禁止とします。</p> <p>(追及5) 現在、家庭への1人1台端末持ち帰り実証実験を進めており、eラーニング教材の活用や、児童生徒と教師が双方向にやりとりするオンライン授業等を試行しているところです。また、家庭におけるWi-Fi環境の整備を進めるために、整備に係る経費の助成やモバイルルータの貸出を行っております。臨時休業等になった場合でも、1人1台端末等を活用することで、児童生徒の学びを保障できるよう努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 小中学校体育館のスマート予約システムについて (1) 今までの運営経緯について (2) 今後の運営について		
【質問要旨】 (登壇) 学校体育施設スマート予約システムの導入については、期待を寄せているところです。10月1日にはシステム稼働すると聞いていますが、現在の導入にあたっての進捗状況はどうなっているのか伺います。 (追及1) スマート予約システムの導入は全国的にも例を見ない取組みであり、かつ非常に便利なシステムであると私自身、感じているところですが、良いシステムでも皆さんが知らなければ宝の持ち腐れとなってしまうのではと、危惧しています。今後、市民に多く知っていただき活用を進めていくために、どのようにスマート予約システムの周知を図っていくのか伺います。			
【答弁要旨】 (登壇) 委託事業者と令和3年2月5日に契約を締結以後、事業者とプログラマーとのヒアリングを経てシステム設計を進めてまいりました。本年4月から全59校の体育館に鍵ボックスと防犯カメラの設置を進めており7月中には完了、8月上旬には予約システムの整備を完了しました。8月中旬以降には、システムの操作説明及び運用開始の広報を各種団体に対して実施しているところであり、同時に地区体育会や学校と連携し、システム利用者の登録の事務を進めています。 (追及1) 予約システムの周知は大変大切なことと考え、様々な周知を図っているところです。体育館やグラウンドをご利用いただいている方々には地区体育会や学校を通じて情報提供を行っていますし、新規で利用を希望される方には本市公式ホームページや、市報を通じてお知らせをしています。 また、これまで利用団体や各地区体育会はもとより、自治連合会、公民館長会、また各学校長への説明を行ってまいりました。今後についてもPTA連合会での説明を予定するなど丁寧な周知活動を実施してまいります。10月1日からのスムーズなシステム運営となるよう、引き続き様々な機会を通じて情報発信を進めてまいります。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 小中学校体育館のスマート予約システムについて (1) 今までの運営経緯について (2) 今後の運営について		
【質問要旨】 (追及2) 学校施設開放のこれまでの利用方法が変わってくることについての戸惑いの声が寄せられている。システム導入することで、これまでの地区ルールを市のオフィシャルルールとして変更することは理解するが、何らかの対応が必要だと思われる。このことについて教育長にお聞きします。 (追及3) みなさんに利用しやすい運用が今後必要になってくると考えますが、市教委としてシステムを運営していくうえで、課題と考えている点と、またその対策についてどのように考えているのかを伺います。 (追及4) スマート予約システムをスタートさせることで利用希望者と施設のマッチングは進んでいくと思うが、このほかでもスポーツ振興を図るうえで期待している点はあるのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及2) これまで学校施設開放事業は、地区体育会や学校に運用をお願いしており、管理団体ごとに施設の利用時間、利用団体の考え方、施設の清掃や維持管理の手法など異なっていました。10月1日から新たなルールのもと運用を開始することとなりますが、これまでも利用団体の皆さんや地区体育会へ統一ルールを説明してきたところであり、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。10月1日からの運用に当たっては、利用者の声に耳を傾けつつ、更なる利用者の利便性が向上に努めてまいります。 (追及3) 説明会や電話の問合せでは、「インターネットで旅館を予約するようなもので簡単である」とか、「施設の空き情報が見て分かるため、いちいち問い合わせする必要がなくなる」との好意的な声をいただいています。一方、スマートフォンやパソコンを持っていない方、操作が苦手な方からは、適切な支援を求める声もいただいています。このため情報端末を持たない方には、予約情報をプリントアウトし送付したり、電話やfaxをいただければ、事務局で代行入力することとしています。今後も、引き続き皆さんが利用しやすい運用となるよう、努めることとしています。 (追及4) 体育施設と利用希望者のマッチングが進むことで、市民の皆さんのスポーツ活動が盛んとなり、その結果、市民のスポーツ参加率や競技力の向上、健康寿命の増進につながっていくことが期待されます。予約システムの登録を通じて、団体の利用実態が把握できることから、市民に親しまれているスポーツについては、より一層の環境改善や競技力の向上を図ったり、まだまだ市民に浸透していないスポーツについては、より一層の普及に努めていきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症について (1) 感染対策について ② 子どもへの取組について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及3) 全国的に感染力の高いデルタ株が猛威を振るってきている状況の中、夏休みが明け学校が再開したが、これまで以上の新型コロナウイルス感染症予防の取組が必要であると思われる。市内各学校ではどのような取組をしているのか、具体的事例を教えてください。</p> <p>(追及4) 感染者への誹謗中傷等、人権を脅かす状況はいまだ続いている。デルタ株の影響で、本市でも児童生徒の感染が増加してきている中、差別や偏見等のない学校にするために、どのような取組をしているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及3) 学校では手洗い、消毒、マスク着用、検温、給食時の黙食等、改めて子どもたちに指導を行い、感染予防の取組を徹底・継続しています。サーキュレーターを増加し換気を心掛けたり、液体石鹸や手指消毒液を増加して消毒の徹底を図ったりしています。ふた付のごみ箱に変更する、トイレのスリッパを直に触らない工夫をするなど、極力ウイルスが体内に入らない工夫をした学校もあります。学習内容を入替え、夏休み明けはマスクを外す活動を避けることもしています。また、家庭での検温・健康観察の徹底やかぜ症状等がある場合は登校を控える等、感染拡大防止の対応について保護者に再度お願いしています。このように、今まで以上に感染予防を意識し取り組んでいます。</p> <p>(追及4) 学校では、これまでも新型コロナウイルス感染症はだれもがかかる可能性があることや感染者への誹謗中傷等、人を傷つける行動は間違っていることなどを指導してきています。中学生がスマイルメッセージを出したり、シトラスリボンを作ったりと、生徒たち自らが人権を大切にしようとする行動も起こしてきています。市教委からは、教育長メッセージにより、新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮やいじめの防止を呼びかけてきました。夏休み明けには偏見やいじめの防止について指導を行うよう、改めて学校に通知しました。今後も誰もが安心して学校生活を送れるよう、支え合える仲間となるよう、各学校では継続して子どもたちへの指導を行っていきます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	米村 京子	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 放課後児童クラブの施設状況について</p> <p>(1) 施設の現状と課題について</p> <p>① トイレ関係の現状と修繕の要望状況について</p> <p>② 修繕対応の状況について</p> <p>③ 今後の対策について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>トイレの修繕の要望については毎年児童クラブから毎年上がってくると聞いているが、過去5年間で何件要望が上がっているのか伺う。</p> <p>(追及1)</p> <p>過去5年間でどのような要望が上がっているのか伺う。</p> <p>(追及2)</p> <p>平成28年度から令和2年度まで数年にわたり要望が出されている児童クラブがあるようだが、修繕の対応状況について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇)</p> <p>トイレに関する修繕等の要望は、平成28年度4件、平成29年度4件、平成30年度2件、令和元年度4件、令和2年度4件でした。</p> <p>(追及1)</p> <p>トイレに関する修繕等の具体的な要望内容については、トイレのドアや壁の修繕に関する要望、トイレのつまり等の修繕に関する要望、トイレの増設に関する要望などがありました。</p> <p>(追及2)</p> <p>平成28年度から継続して要望のあった児童クラブのトイレは、男子トイレ(小便器)1つ、男女兼用個室トイレ1つが同室内に設置されているトイレで、これまで、必要に応じて敷地内にある学校や公民館のトイレを利用しながら活動していましたが、平成28年度に入級児童数が急増したためトイレを増設する要望が出されておりました。このことについては、児童クラブとも協議を重ねましたが、施設を増築しトイレを設置することは困難であることなどから、トイレの増設については見送り、これまで、敷地内にある学校や公民館のトイレを利用することとしていたものです。この児童クラブのトイレについては、再度児童クラブと協議を行い、施設内に2つの洋式トイレを設置することとし、本年度中に改修する予定としています。なお、その他の児童クラブからの要望については、すべて対応済みです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	米村 京子	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 放課後児童クラブの施設状況について</p> <p>(1) 施設の現状と課題について</p> <p>① トイレ関係の現状と修繕の要望状況について</p> <p>② 修繕対応の状況について</p> <p>③ 今後の対策について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及3) 安全・安心を維持する上での児童クラブのトイレ設備の対応施策状況について伺う。</p> <p>(追及4) 児童クラブのトイレ修繕に限らず、児童クラブからの要望に対しスピード感をもって対応されるよう要望するが、教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及3) これまで、放課後児童クラブのトイレについては、約40人定員に対し使用できるトイレを2つ以上確保するよう取り組んできました。また、確保する際は、男女を分けるもしくは男女共に使用できるトイレを設置したり、要望に応じて可能な限り和式トイレを洋式トイレに変更する、などの対応を行ってきたところです。今後も児童や支援員等が安心して利用できるよう、しっかりと要望を聞きながら、トイレの整備に努めてまいります。</p> <p>(追及4) 放課後児童クラブの施設修繕等については、前年度に児童クラブから要望を出していただき、必要に応じて現地確認するなどして状況を把握したうえで、予算の確保に努めています。また、緊急性の高い修繕等については、その都度対応しているところです。今後も現状把握に努めるとともに、トイレに限らず、児童や支援員等が安心して過ごすことができる児童クラブとなるよう施設整備に取り組んでまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	浅野 博文	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>3 インクルーシブなまちづくりについて (2) 学校施設整備について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及3) 学校は、児童生徒にとって「学びの場」であるとともに一日の大半を過ごす「生活の場」でもあるため、学習面だけでなく、休憩時間などにも一緒に活動したり遊んだりすることができるのと更に良いと考えるが、現状について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及3) 本市では、休憩時間、特別支援学級の児童生徒と通常の学級の児童生徒が日常的に互いの教室を行き来し、一緒に本を読んだり絵を描いたり、また時には校庭や体育館でボールや遊具を使った遊びを通して交流しているところです。実際にこれらの遊びの時間がお互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となっています。また学習の場においても年間指導計画に位置付け、計画的・継続的に取り組んでおり、教科等のねらいの達成や豊かな人間性を育むことを推進しています。今後も障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けて、交流及び共同学習の一層の充実を図りたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	浅野 博文	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和3年9月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>3 インクルーシブなまちづくりについて (2) 学校施設整備について</p>		
<p>【質問要旨】 (追及4) 障がいのある子もない子も、もっと楽しく学び、活動や遊びができるように、さらに一歩踏み込んだインクルーシブの観点からの施設整備が必要と考えるが、教育長のご所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (追及4) 学校施設の整備に当たっては、児童生徒の安全性等を確保することはもとより、インクルーシブの観点から、障がいの有無に関わらず、すべての子どもたちが共に学び・遊ぶことができるような環境づくりに配慮することも重要だと考えます。これらの考えのもと、本市では、これまでも児童生徒の障がいの状態等に応じて個別に対応するとともに、トイレの洋式化や車いす対応、エレベーターの設置などのバリアフリー化を推進する施設整備を行ってきました。今後も引き続き、こうした取り組みを進めるとともに、議員から御紹介がありましたインクルーシブ遊具につきましても、今後、学校施設での設置状況や利用状況など先進自治体の事例等を参考に調査研究してまいりたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年9月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年9月16日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	4 交通安全対策に関連して (2) 取り組みについて		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 子どもを交通事故から守るためには、学校の登下校の通学路における安全確保が重要だと思うが、通学路における交通安全対策はどのように取り組んでいるのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 学校では、各教科において児童生徒の発達段階に応じた安全教育を行っており、自他の命を大切に生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培う力を学習しているところです。実践的な取り組みとして、関係機関から指導者を招いた交通安全教室や実際に通学路を歩きながら危険箇所の確認を行うなどの取り組みも行っています。 また鳥取市では、平成24年度より学校と保護者・地域代表・各道路管理者・警察等の関係機関が協力し、通学路における危険箇所の合同点検を行っています。この点検は、各学校単位で点検箇所を選定し、対策が必要と判断された危険箇所については各道路管理者等が対応することとしており、昨年度までに995箇所の点検を実施しており、948の対策、実施率は87%実施したところです。 今後につきましても、学校・保護者・地域・関係機関等と連携を図るとともに、情報を共有し有効な対策を進めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年9月28日(9月定例会教育委員会)			